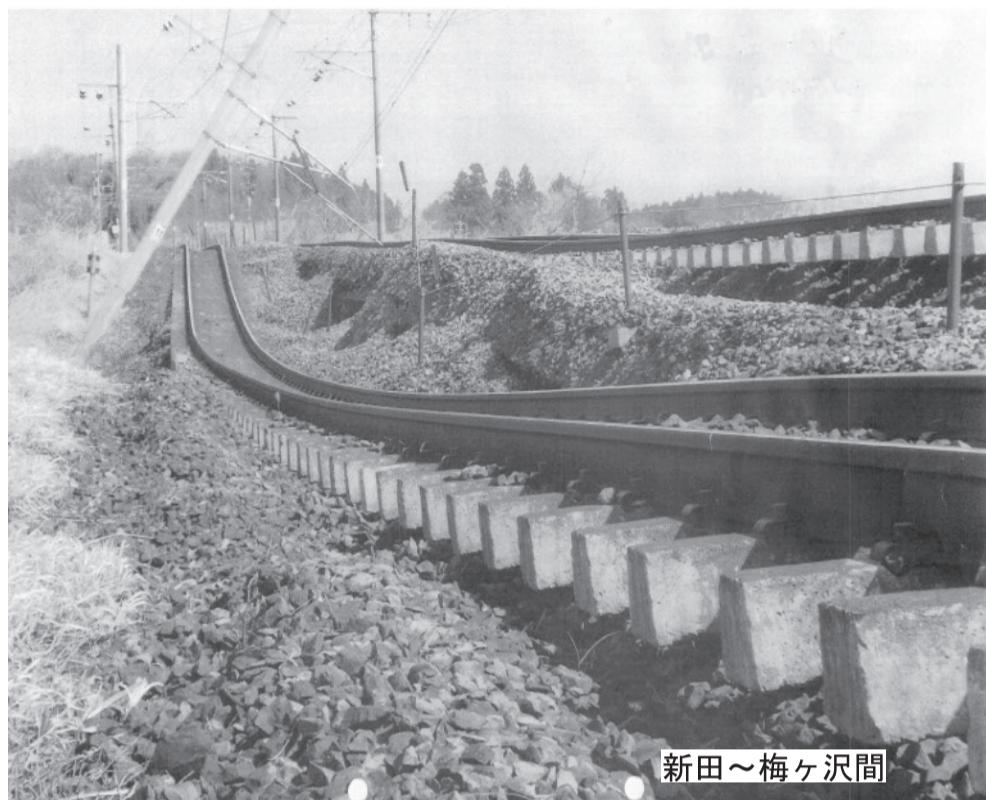


東日本大震災で被災された皆さんに心からお見舞い申し上げます

支援の取り組みに全力を！

東日本大震災で災害対策本部設置



新田～梅ヶ沢間

弔電

熊谷秀三さんの突然の訃報に接し、心から哀悼の意を表すとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

鉄道マンとして、その職責を最後まで全うされた熊谷さんの思いをしっかりと受けとめ、安心・安全な鉄道輸送を守り発展させるため、手と手を取り合って、困難を乗り越えてまいる所存です。

残されたご家族の皆様におかれましては、厳しい生活が続き、心身ともにお疲れのこととは存じますが、健康に留意され、希望を持って生きていかれることが心からご祈念申し上げます。

2011年3月22日
国鉄労働組合東日本本部
執行委員長 高野 苗実

こうした状況の中でも本部に集約される支援物資の数も日に日に増え、全国からの支援の輪は広がりつつあります。依然として原発が予断を許さない中で、復旧に向けては長い取り組みとなります。引き続き、支援の取り組みに集中を！

- 通勤経路等喪失の社員の調査・報告
- 出退勤を含む勤務の取り扱い
- 3月20日
- カンパ等の取り組み
- 支援の取り組み
- 救援物資
- 東日本大地震災害対策本部の設置
- 東日本大震災状況報告
- カンパ・救援物資
- 3月15日
- 3月18日

国労は震災後の14日に本部・東日本本部合同の「災害対策本部」を設置し、組合員・家族の安否確認はもとより、被災状況の把握、同時に被災地支援の

取り組みを決定し、現地の情報収集に全力をあげてきました。

とりわけ被害の大きかった地方本部からの組合員安否確認報告（3月24日現在）では、仙台地本で全組合員の安否確認がとれたものの、水戸地本管内では現在も1名が安否不明、また盛岡地本では、3月20日になり安否確認の取れていたなかつた熊谷秀三さん（気仙沼地域分会所属・ジャス

ターに出向し陸前高田駅に勤務中の死亡が、残念ながら確認されました。

さらに、福島第一原発の事故も含めて被害は拡大し、多くの組合員・家族も被災しました。

3月14日

- 現状での取り組み内容
- 東日本大震災状況報告
- 状況報告・事務所の常駐体制
- 日立社宅被害状況



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 710 定価
20円

2011年
3月 25日

東日本大震災 特集

<http://www.e-nru.com>

携帯用ホームページはこちらのQRコードから

3月17日、災害対策本部は緊急支援の取り組みの第一便として、降陸路が復旧した水戸地本へ搬入

本に対しても鈴木本部総務・財政部長 松井東日本書記長の2名で支援物資を届けました。
引き続き、3月24日、緊急支援の第二便として、盛岡・仙台両地本管内で支援物資の手渡しと激励の取り組みを行いました。

（詳細は次号）

「対策本部」が水戸地本へ



